

# WONDER SENBOKU

ワンダーセンボク

## CONTENTS

- 2-3 Welcome to Senboku
- 4-5 Relationship
- 6-7 Diversity
- 8-9 Nature
- 10-11 Area Map / Course Map
- 12-14 Recommended Courses
- 15 Dialog for the Future
- 16 Local History / Access



泉北で遊ぼう



Welcome to Senboku

## 泉北で遊ぼう

奈良時代から明治初期に至るまで、大阪府南西部一帯は「和泉国」と呼ばれていました。「泉北」は、この「和泉国」の北側を指す呼び名ですが、本冊子では堺市南区全域を「泉北」と位置づけています。そんな「泉北」には、現在大きく分けて2つの暮らしがあります。昔から、自然豊かな谷あいの村々で営まれてきた農的暮らし。そして1967年に、丘を切り開いてつくられたニュータウンでの街的暮らしです。この2つは当時、隔たりもありましたが、できる限り多くの緑地や農地を残した都市計画によって共存を果たし、ニュータウンのまちびらきから50年が経った今では、自然と街の両方の良さを楽しめる独自の環境をつくりだしています。



# Relationship

## 新たな関係を紡ぐ街の賑わい

泉北では、高度成長期以降の過度の効率化によって少しずつ失われてきた関係を、新たに楽しみながら紡いでいこうとするチャレンジがたくさん行われています。

### つながる場づくり

街のあちこちに、広場や建物など公共の資源を活用した「つながる場」がつけられ、たくさんのお会いが生まれています。



#### 駅前広場 × コミュニティガーデン

#### つながる 10 Days

泉北高速鉄道の駅の中で最も乗降者数が多い「泉ヶ丘駅」は、一日平均でおよそ4万人が利用しています。駅前の「泉ヶ丘ひろば専門店街」内にある「いずみがおか広場」は、2016年にコミュニティガーデン広場としてリニューアル。雑貨市や音楽イベント、マルシェやイルミネーションなど、さまざまな催しが開かれています。昨年末に企画された「つながる10Days」では、広場で何かをやってみようという「ひろばプランナー」を広く募集。10日間に渡っていつもの取り組みが行われ、多くの賑わいと人同士の関係が生まれました。

茶山台1-2-1(いずみがおか広場)  
Map B-2/B-5

#### 近隣センター × 老人ホーム

#### グランドオーク百寿

団地住民が集う場所だった近隣センターを活用した、地域密着型特別養護老人ホーム。近隣住民の希望をヒアリングして生まれたコミュニティスペースには、カフェやミニコンビニも設置され、入居者はもちろん学生や家族連れなど、多世代が集う賑やかな風景が生まれています。

茶山台3-22-11  
☎072-291-0222  
www.grand-oak.jp

Map B-2/B-5



#### 集会所 × コミュニティスペース

#### 茶山台としゃん

利用率の低かった団地の集会所を再活用。開館日は誰もが集えるサードプレイスとして賑やかな場所になりました。本館も住民参加で製作。住民さん発案のイベントも数多く開かれています。

茶山台2-1(19棟集会所)  
●13:00-17:00(水) 10:00-17:00(金・土) ※12:00-13:00は休館  
www.facebook.com/chayamatoshu  
Map B-2/B-5



#### 地域会館 × ふれあい喫茶

#### モーニング喫茶こぶし

2005年、男性ボランティアによってスタートしたモーニング喫茶。毎回100人以上のお客さんと賑わい、おにぎり・ピザ・スープ・サラダ・金剛山の湧き水コーヒーなど、地元の食材を中心とした手づくりのメニューが安価で提供されています。老若男女、三原台住民に限らず来店歓迎で、高齢化の進む地域に欠かせない見守り機能も果たす、心強い社交場です。

三原台3-1-3(三原台地域会館)  
●9:00-11:30(第1,3,4金曜)  
Map A-6

## 50周年をきっかけに生まれた活動

2017年、泉北ニュータウンのまちびらきから50周年を記念して行われた「50周年事業」で、たくさんの市民活動プロジェクトが生まれました。

#### プログラミングが学べる場を提供する

#### 子どもプログラミングサポーター 100人プロジェクト

プログラミングに興味のある子どもたちに、無料で学べる場を提供する取り組み。指導するのはプログラミングを生業とするプロフェッショナルたち。50周年事業期間中に8回開催し、のべ380人の子どもと関わりました。



LEADER  
田重田 勝一郎さん  
Tajuta Shoichiro

「CoderDojo」を主宰する傍ら、「NPO法人志塾フリースクール・ラシーナ」の理事長として、何らかの理由で学校に行きづらくなった子どもたちをサポートしている。



#### 子どもの楽しみを伸ばす

#### あそびでつなげる「ひとつむぎ」

お花を描いたり、キャラクターを描いたり。「いずみがおか広場」の地面が、子どもたちのカラフルな落書きでいっぱいになる「むれあそび」を開催。遊んだ後はもちろん片付けも。子どもの「共に楽しむチカラ」を伸ばし、大人は子どもの創造性から刺激をもらえる活動です。



LEADER  
小林 晶子さん  
Kobayashi Akiko

中小企業診断士としての仕事や子育てをしながら、チームで働く面白さや楽しさを、みんなで遊ぶ「むれあそび」を通じて、新しい出会いの場とチームづくりに挑戦中。



#### まちの魅力を未来に受け継ぐ

#### 泉北こどもかるた

ニュータウンがどうして生まれたのかを語り継いでいくために、シニアの方々と子どもたちと共に地域資源を掘り起こし、かるたにしました。「いずれ子どもたちが大人になったとき、ニュータウンを故郷だと思ってほしい」、そんな願いが込められています。

LEADER  
西上 孔雄さん  
Nishigami Yoshio

まちびらきの年に旧美木多村に生まれ、開発の中で幼少期を過ごす。現在は工務店の三代目を務めながら、「NPO法人すまいるセンター」代表として、まちづくりに取り組んでいる。



#### 魅力的なスポット情報を発信

#### 泉北デートスポット

子どもから大人まで、みんなが行きたくなるような泉北のお出かけ&デートスポットを発掘し、紹介していくプロジェクト。泉北沿線に在住・通学する大学生と連携し、Instagramを活用して発信中。気になった方は「#泉北デート」で検索してみてください。

LEADER  
大前 藍子さん  
Omae Aiko

大阪府立大学卒。「大阪NPOセンター」に勤務し、まちづくり、地域団体支援、企業へのネットワーキング、コミュニティビジネス・ソーシャルビジネス支援などを行っている。



#### 参加者みんなが主役になった

#### 泉北吉本新喜劇プロジェクト

皆さんご存知の「吉本新喜劇」がニュータウンにやってきた！泉北の歴史やエピソードを踏まえたオリジナル脚本で上演。市民オーディションの合格者は新喜劇のメンバーと共に出演を果たすなど、お笑いの力が泉北を盛り上げた、笑顔に溢れた一日でした。



LEADER  
野口 正文さん  
Noguchi Masafumi

城山台在住。「泉北高速鉄道」に車掌として勤務する生粋の泉北人。20代の頃に国際交流事業に参加して人のつながりや絆の大切さを実感し、関係性を育む活動に取り組む。



#### 音楽が身近な泉北をPRする

#### Skylish(サイカリッシュ)

泉北の魅力やアコースティックな民族音楽で表現し、「音楽が身近な泉北」をPRしていくプロジェクト。イベント会場で演奏する彼らは、まるで「プレメンの音楽隊」。フィドル・フルート・パウロン・カホンなどの心地良い音色が、泉北のまちに響き渡ります。



LEADER  
上沼 健二さん  
Kaminuma Kenji

赤坂出身のパーカッション&フィドル奏者。西歌から北歌にかけての伝統音楽を、ライブ活動を通じて発信している。楽器演奏のワークショップも積極的に開催。後進の指導にも当たっている。



#### レモンを泉北のシンボルに

#### 泉北レモンの街ストーリー

泉北を「レモンが薫る街」にしようと思った市民活動。まちの皆さんとレモン苗木の植樹推進、泉北レモンの特産品づくり、毎年3月に泉北レモンフェスタを行っています。50周年事業では、「大阪府住宅供給公社」の茶山台団地の敷地に、住民参加でレモンの木を植樹しました。

lemon-organic.net



LEADER  
荻谷 由佳さん  
Kariya Yuka

集合研修・個別指導のパソコン講師。「スリーステップ」代表。100人以上に講義を実施。青い空と緑豊かな泉北をもっと輝かせたいと、2015年、「泉北レモンの街ストーリー」をスタート。

# Diversity

## 多様な暮らしや商いが息づく風土

ニュータウン誕生以降、外からたくさんの人たちを受け入れてきた泉北には、多様な暮らしや商いが息づく風土が育まれています。

### 地域に開いて学び合う暮らし

テーマを持って自宅やスペースを地域にシェアすることで、近い価値観の人たちとつながり、共に学び合う暮らしを実践する人たちがいます。



暮らしはもっとDIYできる

#### DIY泉北

茶山台団地にある自宅の一角を、仲間を集めてDIYでリノベーション。誰もが使えるシェアスペース「茶山台ハウス」として提供しています。仕掛け人の中村さんはDIYを通じて、「自分でやってみたら、想像以上の驚き！」が起きる楽しさを伝えたい」と話してくれました。 [Map B-2/B-5](#)



自宅を開いて学び合う

#### グループ・スコーレ

「スコーレ」は、20年続く学び合いのコミュニティです。会員数はなんと250人以上。得意を活かしてそれぞれの講師となり、それぞれの自宅で講座を開きます。麻雀・川柳・シャンソン・ジャズなど、バラエティに富む講座の数は60を超え、みんなで優しく笑い合う、心の通った付き合いが今も変わらず続けられています。 [groupschole.wixsite.com/schole](http://groupschole.wixsite.com/schole)

食の大切さに気づく場所

#### Space かなび

「かなび」は、片岡さんご夫妻が営む、食を大切に思う人たちが集まる場所。青森県で「森のイスキア」を主宰された故・佐藤初女さんとも親交が深く、佐藤さんの生涯をテーマにした写真展、初女さんからの学びの会などを開催。その他味噌づくりの大切さも伝えていきます。 [城山台 3-18-5](#) ☎072-291-3363 [Map C-1](#)



街中の空きスペースを繋げる場所に

#### Share space まちいえ

住宅街の空き家・空き部屋・庭・ガレージなどの空きスペースを利用して、「人が集える場所」を街に増やしていく市民活動です。空きスペースを貸したい人と借りたい人をつなぎ、企画のコーディネートまで実施。「まちいえ」では、毎月たくさんの講座やワークショップが開かれています。 [www.machieie.com](http://www.machieie.com) [Map B-3/B-6](#)



健康な食の大切さと楽しみ方を提案する

#### いただきますブランニング

専業主婦から、自身が病気になることを機に栄養士となり、さまざまな栄養士職を経験した後、食の大切さを伝えるために起業。堺市役所レストランのメニュー開発や、食物アレルギー講演会、料理教室・専門学校の講師、自宅菓子工房でつくったこだわりおやつの販売などを行っています。50周年事業では、泉北レモン・上神谷米をはじめとする地元食材にこだわった料理教室を開催しました。

☎080-1403-4220 [www.itadakiplan.com](http://www.itadakiplan.com)



LEADER

山口 香代子さん  
Yamaguchi Kayoko

「いただきますブランニング」代表。栄養士・調理士・保育士。「辻学園調理・製菓専門学校」の食品衛生学担当講師。アレルギー児も食べられる給食を考案し、レシピ本も出版。堺市役所レストラン「森のキッチン」でもレシピを提供中。



健康ごはんを地域課題に取り組み

#### 横塚台レストラン

横塚台の近隣センターにお店を構えるコミュニティレストラン。空き店舗の利活用、雇用の創出、高齢者の見守りや閉じこもり予防など、一石三鳥を目指して運営されています。管理栄養士がメニューを考え、食材も米・野菜・卵など、できる限り地元のものを使用。お弁当もあります。 [横塚台 3-1-2](#) ☎072-289-9377 ☎11:00-15:00 日・祝定休 [Map B-3/C-6](#)

スタイルが見つかるオーダーメイドショップ

#### iwt(アイ・ダブリュー・ティー)

「スタイル=生き方」は服に出るという考えのもと、その人の人生をより豊かにする洋服をあつらえるお店です。オーダーできるのは、ジャケット・スーツ・ニット・シューズ・ジーンズ・ベルトなど。決して安くはありませんが、長い人生を共に過ごす「一生モノ」に、ぜひ出会ってください。 [高倉台 1-18-10](#) ☎072-298-9292 ☎12:00-20:00 月・水定休 [iwt-sakai.jp](#) [Map B-3/B-6](#)



築100年の古民家で健康な食事を

#### Organic 畑 kitchen 結

料理に使われる米・野菜はすべて無農薬・有機で栽培されたもの。鶏卵や豚肉も、非遺伝子組み換え・ノンポストハーベスト飼料を食べて育ったものを使用しています。ランチメニューはバスタか1日10食限定の和御膳。築100年を超える古民家で、健康なごはんをいただきます。 [釜室 122-1](#) ☎072-283-1406 ☎11:00-18:00 木曜定休 [Map C-2/C-3/C-5](#)

## 子どもをみんなで育てる暮らし

新しくこの土地に住んだ人たちが集まるニュータウンでも、地域ぐるみで子どもを育てていこうとする活動が行われています。

父親同士のつながりも生む

#### 城山台小学校 おやじの会

子どものことが大好きなおやじたちが集まり、芝刈りや見守りなどの学校活動支援や地域活動を実施。関係を築きにくいお父さん同士のつながりを生む役割も果たしています。春には「おやじ新聞」を発行。夏休みには全長50mの総青竹2本を使った流しそうめん大会を「しばふわ広場」で行っています。 [www.facebook.com/shiroyamadai](http://www.facebook.com/shiroyamadai)



子育て中のお母さんをサポート

#### みんなの子育てひろば城山台

「大阪いずみ市民生協」が運営する子育て支援施設です。子育ての悩みを聞き、時にアドバイスや情報提供をしながら、子育てのしんどさを少しでも楽にできるようにと活動しています。子どもと一緒にあれば、お父さん・おばあちゃん・おじいちゃんも利用できます。 [城山台 2-3\(19号棟\)](#) ☎080-2408-5414 ☎10:00-15:00 (月・水・木・金) 10:00-12:00 (基本第3土曜日) [ameblo.jp/sakaisiroyamadai](http://ameblo.jp/sakaisiroyamadai) [Map C-1](#)

☎080-2408-5414  
☎10:00-15:00 (月・水・木・金)  
10:00-12:00 (基本第3土曜日)  
ameblo.jp/sakaisiroyamadai  
Map C-1



食パンが人気のベーカリーカフェ

#### 泉北堂

メディアにも多数取り上げられている、泉北きっての有名店。湯種製法でつくられた、モチっとして甘いのある「極食パン」が一番人気です。スタイリッシュな店内の中央には、予約注文を受けた食パンがずらり。イトインもできるの、ぜひお腹をすかせて訪れてみてください。 [和泉東 329-2](#) ☎072-230-1331 ☎9:00-18:00 第2火曜定休 [www.senbokudo.net](http://www.senbokudo.net) [Map A-2/A-6](#)

フルーツの可能性を探る

#### 千総果物店

創業から130年の歴史を持つ老舗果物店。産地をめぐり、栽培方法へのこだわりや熱意のある生産農家から直接仕入れた果物を、自社で加工する無添加ジャム「アトリエコンフィチュール」シリーズが人気です。店頭にはジューススタンドも。大切な人へのお土産に、ジャムをおひとついかがですか? [茶山台 1-2-3](#) ☎072-293-1031 ☎10:00-19:00(ジューススタンドは11:00-18:00) [www.sen-sou.com](http://www.sen-sou.com) [Map B-2/A-5](#)



大事に使い続けたい手仕事を紹介する

#### うつわとくらしの道具 sizuku

大量生産ではない、使い手のことを考えて丁寧につくられた品々が売られている雑貨店。良い道具は、みんなでいただくおいしい食事をつくる活力をくれるもの。長い間使えて毎日の料理を楽しくしてくれる。そんなお気に入りの一品が、きっと見つかるはず。 [御池台 2-5-18](#) ☎072-220-9685 ☎11:00-17:00 日・火定休(不定休あり) [sizuku.ocnk.net](http://sizuku.ocnk.net) [Map C-2/D-5](#)

# Nature

## 心と体を調える豊かな自然

泉北には、自然とつながることのできる緑資源がたくさんあります。樹木などに覆われた土地の割合を示す「緑被率」は周辺地域に比べ高い水準を維持。緑を活かして暮らしを楽しむ人もどんどん増えています。

## 街のあちこちにつくられた 自然とつながる公園や体験施設



新檜尾公園 新檜尾台 2-3



西原公園 桃山台 1-4

ニュータウン開発の際に、もとの自然を生かしながら、たくさんの公園が整備されました。代表的なものに、日本最大の須恵器の生産遺跡・陶器窯跡群のある「大連公園(15ha)」や、桜が有名な「鴨谷公園(13ha)」、大きな梅林が広がる「荒山公園(17ha)」、メタセコイア並木が見事な「新檜尾公園(11ha)」、1600本のソメイヨシノが壮観な「西原公園(12ha)」などがあり、その他にも、里山文化を伝える「堺自然ふれあいの森」などの体験施設もあります。

## 自然資源を楽しむ取り組み

泉北の自然を活かして市民の皆さんが行っているさまざまな取り組みをご紹介します。

### 緑道や公園をもっと素敵な場所へ 緑道カフェ

「いつも通り過ぎている緑道を、もっと賑わいのある空間にしたい」。そんな思いから開催されている公園・緑道での屋外カフェプロジェクト。毎回、地元の飲食店が出店し、「緑の中でゆっくり過ごす休日」を提案しています。「緑道ピクニック」という別プロジェクトチームと連携し、飲食に加え、ヨガ、絵本の読み聞かせ、靴みがきワークショップなども実施しています。



LEADER  
岩藤 邦生さん  
Iwato Kunio

高倉台の住宅街の中でオーグメッドショップ「M1」を経営。ニュータウンに住み始めて13年。自分たちが暮らす泉北がより良くなるよう、さまざまな活動を行っている。



高倉台緑道

### 自然に近い“生きる”を提案する

#### 暮らし・はたらき・つながる箱

「自然により近い環境で、仕事も暮らしも両立できる人が増えてほしい」という思いから始まった、コワーキングスペースをつくる試み。新檜尾公園で行われたトライアルでは、吉野杉を使ったオフィスタントが設置され、仕事をすすめる人、音楽を奏でる人、食事を提供する人などが集まり、思い思いの時間を過ごしていました。

LEADER  
西 恭利さん  
Nishi Yoshito

「西紋一級建築士事務所」代表。「泉北ニュータウン住宅リノベーション協議会」のメンバーとして、中古戸建住宅のリノベーションを推進。地元野菜を使ったカレーを振る舞う「だんじりキッチン」を通じて、泉北の魅力発信にも取り組んでいる。



### 有機農業に取り組む準農家を育てる

#### 泉北ファーマーズプロジェクト

有機肥料中心の野菜づくりを学べる「みないき農業塾」が主体で取り組んだプロジェクト。50周年事業では野菜の手入れ・収穫を体験できるイベントや、近郊農家の野菜を集めたマルシェなどを開催しました。塾では販売面もサポートし、準農家育成に取り組んでいます。

LEADER  
柴田 美治さん  
Shibata Yoshiji

「NPO法人ASUの会」理事長として環境保護や高齢者支援に取り組む一方、「一般社団法人堺南すこやかファーム推進会」理事長として、農業塾やマルシェの運営などを行う。



### みんなで歩いて一石三鳥

#### 緑道ウォーク

「一般社団法人ひとまちプロジェクト」が取り組んでいる活動のひとつ。子ども、シニア、障がいのある人みんなで緑道を歩くことで、健康増進・住民交流・地域資産発見を目指します。



### 年に一度の秋のマルシェ 畑のご馳走

畑地区で年に一回、秋に行われる地産地消マルシェ。地域の伝統米「上神谷米」や無農薬・有機で育てた野菜、豚汁などを販売。その他、お弁当やスイーツなど、土地の味覚を楽しめます。

畑187(畑自治会館グラウンド)

### 地元野菜を提供する集い場

#### 赤坂にぎわい朝市

地域のスーパーが閉店したことを受け、地元の有志が始めた朝市。地元でとれた旬の農産物を販売しています。高齢者の見守りの場としても機能。毎月第3日曜日の9時～13時、赤坂台近隣センターで開催中。

赤坂台 2-5-5(赤坂台近隣センター)



### 彩りの庭を期間限定で開放

#### オープンガーデン

春に行われる、個人宅や公園、事業所などの庭を一般開放する催し。市民の皆さんが愛情込めて育てた、彩り豊かな花や植物たちが、香りと共に迎えてくれます。2017年は5地域で開催しました。

## 駅と住宅を ぐるりとつなぐ緑道

泉北には、「泉ヶ丘」「樺・美木多」「光明池」という3つの駅があります。これらの駅と周辺につくられた住宅地をつなぐのが「緑道」です。生活や通勤に使われるのはもちろん、この緑豊かな道で、散歩やジョギングを楽しむ人もたくさんいます。区画で様変わりする植栽、道沿いに広がる数々の公園。「緑道」は多くの使い方ができる可能性を秘めています。

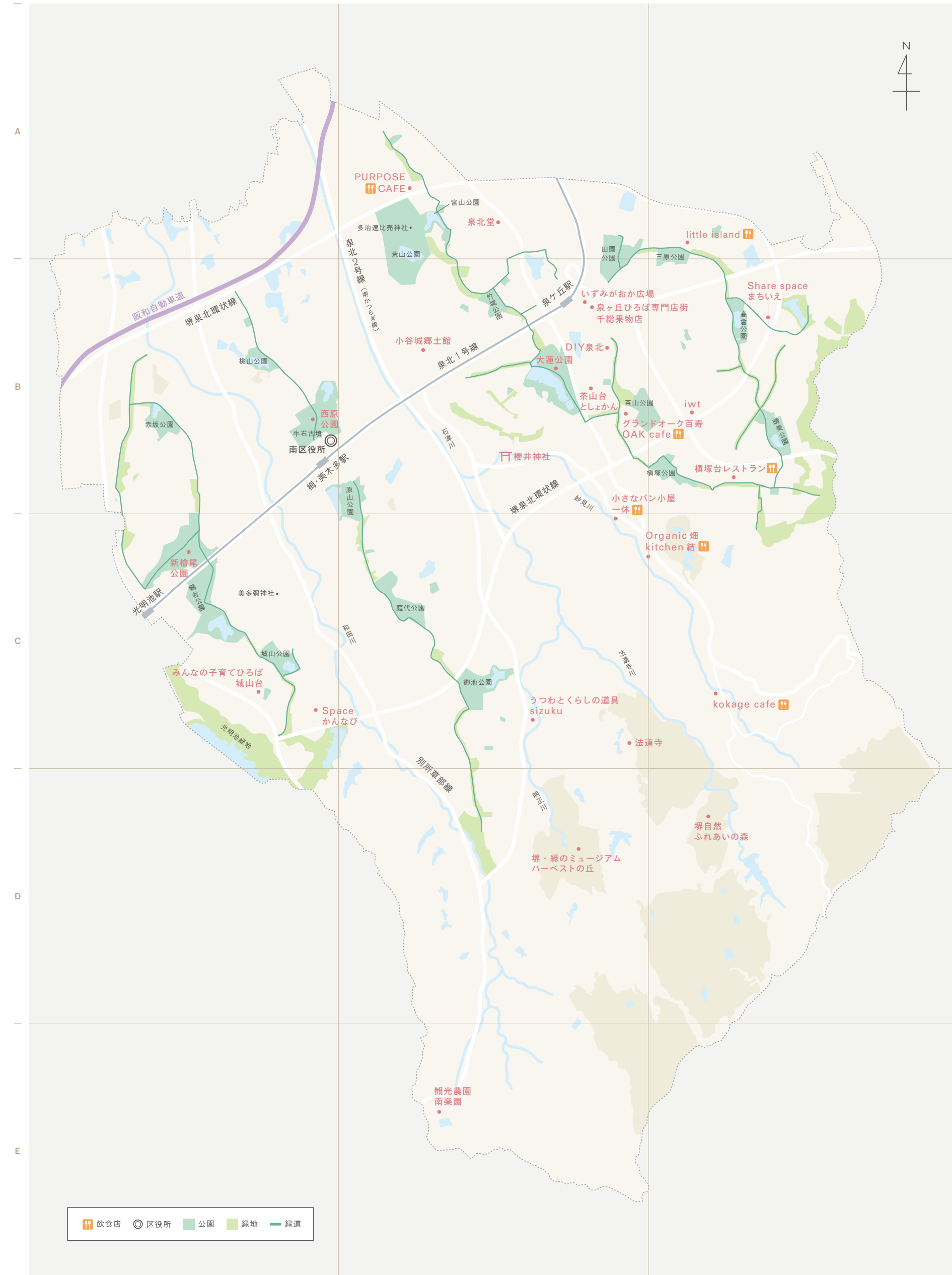


## 命をつなぐ米や野菜を 育てる農地

泉北には、命をつなぐ食べ物を育てる農地もたくさんあります。美しく整えられた棚田は、水が張られた季節には水面がキラキラと輝き、なんとも美しい姿を見せてくれます。市が運営する市民菜園「フォレストガーデン」や、その他、畑を借りられる市民農園も。人々が気軽に農業に触れられる環境が身近にあるのです。

# Area Map

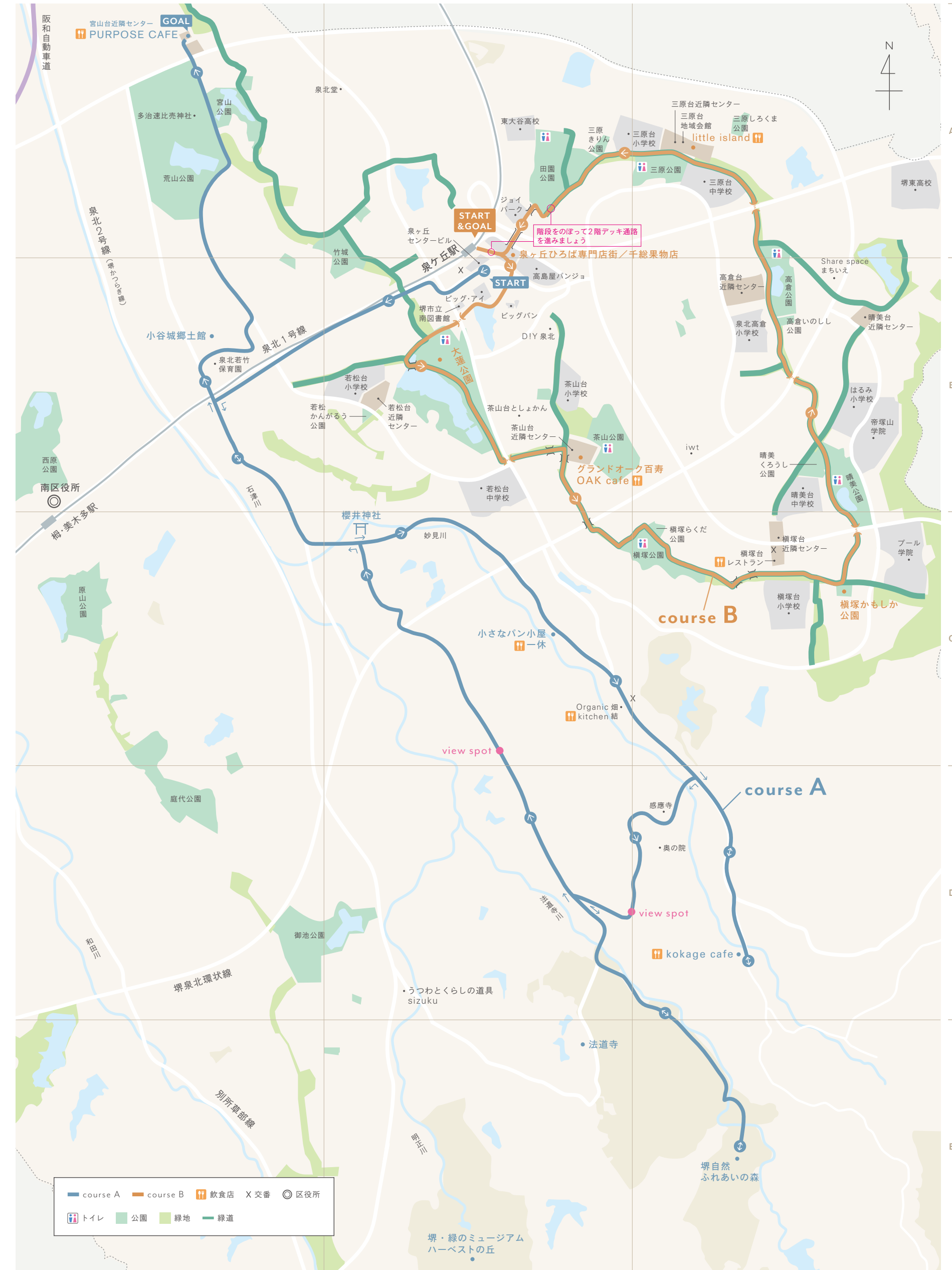
堺市南区全域が入った広域マップです。南区の面積は40.39km<sup>2</sup>。人口は約14万人、約6万世帯がこの町で暮らしています。



飲食店 区役所 公園 緑地 緑道

# Course Map

WONDER SENBOKUでは、南区の泉ヶ丘駅周辺を車と徒歩で巡る2つのモデルコースを作成しました。詳細は次のページからご紹介していきます。  
※緑道は赤茶色に塗装されているので、歩く際の目印にしてください



course A course B 飲食店 X 交番 区役所  
トイレ 公園 緑地 緑道

# WONDER SENBOKU Recommended Courses

東北の魅力をもっとつかんだ後は、ぜひ実際に体験しにいらしてください。車でのんびり巡るコースA、しっかり歩いて回るコースBの2つをご紹介します。

※各スポットでかかる料金は大人料金のみを記載しています ※コースの経路や移動時間・所要時間は目安です ※2018年3月の情報をもとに作成しています

course  
**A**



所要時間  
**6 時間**

コースAでは、車に乗って東北をぐるっと広く巡ります。神社や郷土館で土地の歴史や信仰に触れ、美しい里山や森を歩きましょう。地元野菜中心の健やかなランチやこだわりのコーヒーも楽しめる、盛りだくさんのコースです。

START

泉ヶ丘駅前  
ロータリー（南側）

10:30



泉ヶ丘駅前にあるロータリーからスタート。シートベルトをしっかり締めて、安全運転で出発です！  
茶山台1-2 [Map A-5/B-2](#)

2 kokage cafe LUNCH

11:30  
60min



健やかな食材を丁寧に料理する  
体に優しく心温まるカフェ

お店のコンセプトは「からだに優しくココロあたたまるごはん」。野菜中心の6種のおかずにおむすびが2個ついてくる「こかげプレート」は、体が喜ぶおいしさです。野菜は近所の農家さんがつくった有機・無農薬のものを使用。お米も地元の上神谷米で、調味料も健全なものを選んでます。大阪のクリエイティブユニット「graf」による店舗デザインにも注目してください。

畑10 ☎080-5710-6880  
●11:00-15:00 日・月定休

[Map C-3/D-6](#)

view spot

坂道を登り切った先で、突然視界が開けます。大きな大きな空の下、田んぼの向こうにニュータウンが見える、泉北らしい眺望をどうぞ。

[Map D-5/D-6](#)



1 櫻井神社

10:50  
20min



市内唯一の国宝を有する  
上神谷の八幡さん

「上神谷の八幡さん」と呼ばれ、古くから地域の守り神として崇められてきた神社です。国宝の拝殿は鎌倉時代前期の建物で、割拝殿としては最古のものになります。10月の秋祭りに神様に奉納される「上神谷のこどり」は、府指定・無形民俗文化財の貴重な伝統行事。同じ日に境内で行われる「地車の宮入」は迫力満点です。絵馬堂に掛けられた巨大な赤鬼・黒鬼のお面も一見の価値あり。「嵐」の櫻井翔さんと同じ字の神社としても注目されています。

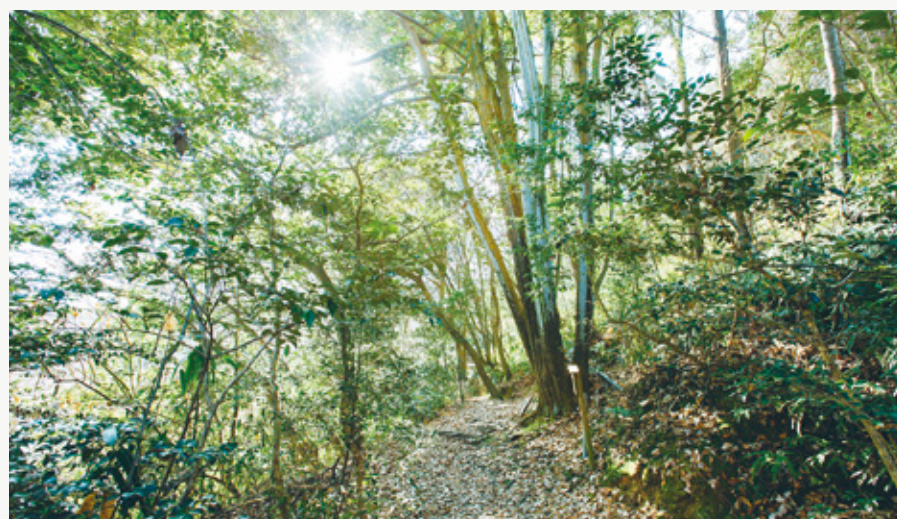
片蔵645 ☎072-297-0043 ¥無料  
●6:00-19:00(受付は9:00-16:00)

[Map B-2/C-5](#)



3 堺自然ふれあいの森

12:50  
110min



美しい里山を継承する  
「森の学校」がテーマの公園

豊かな自然環境が残された南部丘陵にある「堺自然ふれあいの森」は、人と里山の新しい関わり方を学び、里山文化を継承する「森の学校」がテーマの公園です。歩きやすく整備された散策路を進めば、美しい森とたくさんの生き物に出会えます。「森の館」にはスタッフが常駐しているので、森のこと、生き物のこと、気軽に聞いてみてください。

畑1740 ☎072-290-0800 ¥無料  
●9:00-17:30(3-10月) 9:00-16:00(11-2月)  
月曜定休

[www.sakai-fureainomori.jp](#)

[Map D-3/E-6](#)



view spot

遠くへ真っすぐ伸びる道路、眼前に広がる美しい棚田。この場所を「東北の北海道」と呼ぶ人もいます。

[Map C-5](#)

4 小谷城郷土館

15:00  
30min



土地の歴史を学べる  
東北唯一の博物館

「小谷城郷土館」は、鎌倉時代から続く小谷家の邸宅の一部を一般公開した、国の登録博物館。館内には、小谷家に伝わる鎧兜などの武家用具や美術品、小谷家が使っていた農具、第39代小谷方明翁が収集した民俗・考古学資料などが展示されています。

豊田1602-1 ☎072-296-8435 ¥200 ●10:00-16:00  
月曜定休(月曜が祝日の場合はその翌日) [www.kotanijo.jp](#)

[Map B-2/B-4](#)

5 PURPOSE CAFE  
(バーバスカフェ)

15:50  
40min



上質で安心なシングルオリジン  
コーヒーが楽しめるカフェ

元バリスタの店主が淹れるコーヒーが評判のお店。豆は品質管理が徹底された希少なスペシャルティコーヒー・シングルオリジンのみを使用しています。看板メニューのカフェカレーも、20種類のスパイスを使った店主こだわりの一品。ぜひ一度味わってみてください。

宮山台3-1-18-1F ☎072-349-8133  
●11:00-20:30(月・火・木・土) 11:00-14:30(金)  
11:00-18:00(日) 水曜定休  
※閉店時間はラストオーダーの時間です [Map A-2/A-4](#)



check point

観光農園 南楽園



36000坪の広大な自然の中で一年中、四季折々の味覚狩りを楽しめます。できる限り農薬を使わずに育てられた味覚を存分にお楽しみください。

別所1457 ☎072-298-5037  
●10:00-16:00(6-8月は10:00-17:00)  
¥300(3-9月) ¥900(10-12月/みかん狩り料金含む)  
※体験内容によって入園料と別に各種料金がかかります [nanrakuen.jp](#)

[Map E-2](#)

堺・緑のミュージアム ハーベストの丘



動物との触れ合い、野菜の収穫、クラフト体験に観覧車。見て触れて、食べて遊んで体験する。盛りだくさんの一日が過ごせるテーマパークです。

鉢ヶ峯寺2405-1 ☎072-296-9911  
●9:30-18:00(3-10月) 9:30-17:00(11月)  
10:00-17:00(12-2月) ¥900  
※営業時間は変動する場合がありますため事前にご確認ください  
※体験内容によって入園料と別に各種料金がかかります [farm.or.jp](#)

[Map D-2/E-5](#)

法道寺



7世紀、法道仙人の霊験を伝え聞いた天智天皇の勅願寺として開創される。境内の食堂と多宝塔は国の重要文化財。楼門の金剛力士像は力強く佇んでいます。

鉢ヶ峯寺401 ☎072-297-0705  
¥無料

[Map C-2/E-5](#)

小さなパン小屋 一休(ひとやすみ)



店構えもご夫婦も、まるでジブリ映画のような、かわいらしいパン屋さん。カスタードクリームたっぷりのクリームパンがおすすめです。

釜釜825 ☎072-299-8550  
●7:00-18:00 火曜定休

[Map C-2/C-5](#)

GOAL

**1** 泉ヶ丘ひろば専門店街



**90の商店が集まったなんでも揃う専門店街**

バラエティ豊かな約90の店が集まった専門店街です。外遊び用の玩具やビニールシートを買うこともできますし、小腹がすいていたらお肉屋さんのコロッケもおいしいですよ。絵本や遊び道具が用意されたちびっこ広場もあるので、お子様連れでも楽しめます。帰りはぜひお土産をどうぞ。  
茶山台1-2-1 ☎072-291-3961  
※各店舗の営業時間や駐車場はWebサイトでご確認ください  
izumigaoka-nankai.com

**2** 大蓮公園

**豊かな自然を感じながら思い思いの時間を**

15haという広さを持つ、泉北を代表する風致公園です。園内には面積の1/3を占める大きな大蓮池があります。緑の芝生の上に寝転んで読書するもよし。会話を楽しんだり、物思いに耽るのもいいでしょう。豊かな自然の中で、思い思いに気持ちよく過ごしてください。子ども用の大型遊具もありますよ。  
若松台2-5

**少しずつ変わる植物の風景**



泉北ニュータウンは、「〇〇台」ごとに、多く植えられている植物が異なります。例えば、三原台は「こぼし」がたくさん植えられているという具合に。少しずつ異なる植栽も意識しながら、街を歩いてみてください。

コースBは、泉ヶ丘駅の商店街を楽しんだ後、ぐるりと伸びる緑道を徒歩で回るハイキングコース。総距離は約8km。履き慣れた歩きやすい靴で歩きましょう。途中の大蓮公園でストレッチをするのもおすすめです。

**5** little island (リトルアイランド)



**4** 槇塚 かもしか公園



**かもしかの看板がかわいい昔ながらの公園で一休み**

この公園のあたりがちょうど折り返し地点です。少し疲れ始めてはいませんか？一休みして、しっかり水分補給をしてからリスタートしましょう。  
槇塚台3-37

**3** OAK cafe (オークカフェ)



**老人ホームが運営する地域に開かれたカフェ**

管理栄養士が考案した健康的なごはん、バリスタが淹れるスペシャルティコーヒー、明るく洗練された内装。一見老人ホームとは思えない、細部までこだわり抜かれたカフェです。利用者さんと同じ食事が500円で食べられる他、定食メニューがとてもしっかり充実しています。  
茶山台3-22-11 (グランドオーク百舞1F) ☎072-291-0222  
9:00-17:00 日・月・祝日定休  
Map B-2/B-5

**5** little island (リトルアイランド)

**軽やかに自産自消を目指す 海外支援も行うカフェ**

たくさんの光が入る明るい店内に、コーヒー農園の写真が飾られています。店で使用するエスプレッソ豆の中には、オーナー自ら農園に赴き買い付けたものも。ケーキ類も店内でつくり、野菜を栽培する自社農園も始めています。目指すのは、すべて自分たちでつくり、店舗で消費する「自産自消」。売り上げを海外の子ども支援団体に寄付する健康なお店で、甘いものでもいかがですか？  
三原台3-1-4 ☎072-248-6047  
11:00-22:00(土・日・祝は8:00-22:00) 不定休  
Map A-3/A-6

**増田 昇 (ますだ のぼる)**

写真中左。大阪府立大学研究推進機構特認教授・植物工場研究センター長。1970〜80年代にかけて民間のコンサルタント会社に勤務し、大阪の千里ニュータウン近隣センターの再整備、泉北ニュータウン内の団地設計・開発に携わる。専門はランドスケープ・アーキテクチャー。

**岩藤 邦生 (いわとう くにお)**

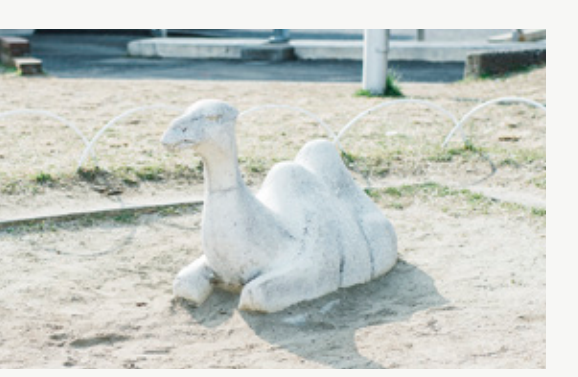
写真右。13年前に泉北ニュータウンへ移住し、7年前から自宅の敷地内にてオーガニックショップ兼工房「iw1」を運営。3年前から泉北ニュータウン内の公園や緑道で行うプロジェクト「LOTUS Café」の代表として、さまざまなイベントの企画・運営を行う。

「一服屋さんご自身は千里ニュータウンのご出身と伺いました。泉北の魅力はどのあたりにあるとお考えになりますか？」



**一服屋さん** 泉北ニュータウンに来たとき、「ここは今の時代にもソフトできる」って思ったんですよ。今の若い人たちは、スーパーより隣のおじさんから野菜を買いたいんですよ。都会の暮らしをしながら農村の人から野菜を買えるなんて、「新しい」って。そこで、僕らがつくらせてもらった泉北のPR映像の中では「New Standard」というキャッチコピーを使いました。社会が変わりゆく中でも、常に“New”であるのが本当のニュータウンのあり方だと考えると、泉北にはニュータウン設計当時、すでにその価値観があったんじゃないかと思うんです。

「尾根を切って谷を埋める」というのがニュータウン造成の大原則と伺いました。当時、谷にある里山や農村を残す設計がなされたのはなぜだったのでしょうか？」



**増田さん** 田園景観を保全することで、ニュータウンで暮らし始める世帯をなご

# Dialog for the Future

## スタンドアロンを目指す泉北、未来への対話。

高度成長期における生涯モデルは崩壊し、あらゆる課題が浮き彫りになる中、これからの時代を生きる私たちには、さまざまな物事を最適化または再構築する「進化」が求められています。では、泉北はどのような「進化」を遂げられるのか。未来と可能性について、泉北に関わる4人が話し合いました。

ませるためでした。子育て期にニュータウンに住み始める世帯が多い中、すべてを新しくつくりなおすニュータウンだと、子どもが大きくなった頃ようやく、まちの木々が大きく育ちます。それを選けたかったの。最初から自然景観が整っていることが、まちの大きな魅力だと考えられたんです。造成当時の若い人たちは、今は真逆の価値観を持っていました。田舎の密なコミュニケーションに辟易し、地方から出て団地生活を始め、鍵1本で管理された生活を送ることが、あこがれの近代的な生活の象徴でした。ところが何十年もの時を経て、今度は逆に「農のある暮らし」へのあこがれが高まってきました。暮らす人たちのことを考えた設計のおかげで、泉北の環境は、ニュータウン再生が叫ばれる現代において大きな強みとなっているのです。

「日本全体が人口減少・少子高齢化に向かう中で、泉北でも、空き家などの問題が浮き彫りになりつつあります。市としてはどのように対応していくのでしょうか？」

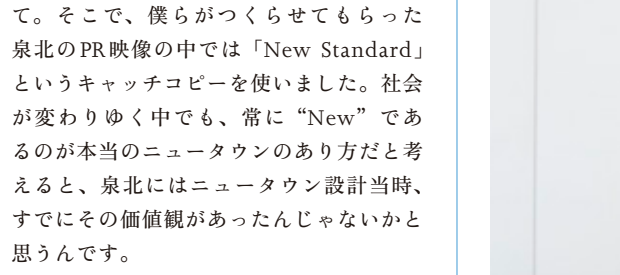
**高松さん** 人口減少で生まれたゆとりを、そのままゆとりとして活用していきたいと考えています。大阪の中心部に近い他のニュータウンの取り組みは、住宅を高層化し、さらに人口を増やす、という50年前と変わらないやり方です。泉北は中心部から遠く、地価も安いので、同じような再開発は成り立ちにくい。でもだからこそ、既存の公共空間や空き戸住戸を活用し、住むこと以外での魅力をつくり出せるはず。昼間の人の動きが活発になれば、新しい経済活動が期待できます。住むだけでなく、農業をやったり、収穫した野菜でカフェをやったり、週末は公園のイベントに出かけたりと、それが地域内で循環するように働きかけていきたいですね。

**岩藤さん** 僕のお店は「継続」がキーワードです。売上だけを考えたら大阪市内のワ



**高松さん** はい。2014年から始まった「泉北をつむぐまちとわたしプロジェクト」がきっかけで、多くの取り組みが始まっています。確かに市から声をかけました。「行政も頑張るから、住民さんの手で泉北を魅力的に変えませんか？」って。すると「泉北を俺たちの手で変えようぜ！」という人たちが30人、50人、100人と、どんどん増えていったんです。そうして現場で起こった好事例を政策や計画に盛り込む。行政のあたりまえとは真逆の発想ですが、そういう順番がこれからのまちづくりなのではないかと考えています。

**岩藤さん** 対等に話せるのは財産ですよ。お互いに嫌なことを言い合えるくらいの関係をつくっていけば、より良いものができる。その人間関係にはすごくこだわりました。



「では、10年後、20年後、泉北の未来はどうなっていくのでしょうか？」

**増田さん** 過去のニュータウン政策の大きな失敗は、平等性や公平性を追求して、画一的なまちをつくり過ぎたこと。これからは、違いを認め合う社会をつくらなくては。例えばドイツでは、全部のまちが一括に



通りが多いところの方がいいかもしれませんが、それよりも長く続けたくて。家と隣接してお店があるのは負担も少なく、働きやすいですね。一方で、泉北に引越してきたとき、スローな空気を素晴らしいと思う反面、「惜しい」と思ったんです。「何か足りない」と。緑道のシステムも素晴らしいのに、きちんと活用されていない。僕はまず「人が集まる場所にしよう」と考えました。人が集まれば、おのずと魅力的な場所になっていくはずなので。そんな風にして、僕が元気に暮らし、長く続けることで、泉北で起業する若者を増やしていけたらと思っています。

**岩藤さん** はじめ、今、泉北ではさまざまな住民主体のプロジェクトが動き始めているんですね？しかもこれは堺市からの働きかけがあったとか。

**高松さん** 例え、スタンドアロン型のタウン構成をみんなのビジョンにしてしまえば、やがてエネルギーをつくる人だって現れるんじゃないかな。若者は当然だけど、定年後の高齢者を移住者として受け入れるのも、まちづくりのベースにしていた方がいいですね。地元で仕事ができるしくみで。みんなのプロファイルがデータ化できたらもっといいですね。その人がどういう生き方をしてきたか、何が得意なのかを記載する項目があって。そうしたら、「この人に電気のことをお願いしよう」とか、「あそこのコミュニティにこれができる人が足らんから、この人にお願いしよう」とか、そういうことができるかもしれませんね。

**岩藤さん** 対等に話せるのは財産ですよ。お互いに嫌なことを言い合えるくらいの関係をつくっていけば、より良いものができる。その人間関係にはすごくこだわりました。

「では、10年後、20年後、泉北の未来はどうなっていくのでしょうか？」

**増田さん** 過去のニュータウン政策の大きな失敗は、平等性や公平性を追求して、画一的なまちをつくり過ぎたこと。これからは、違いを認め合う社会をつくらなくては。例えばドイツでは、全部のまちが一括に

なってしまうと互いの往来が減ってしまうから、各々のまちが他とは違った個性を大事にしています。

**高松さん** 「田園だけでも都市だけでもできないことが泉北ではできる」ということを、次の50年で見せたいです。参考になるのが、20世紀初頭にイギリスでつくられたニュータウン「レッチワース」。都市の周囲を緑や農村が囲み、働く場所もあり、ひとつのまちですべて完結する持続可能な「田園都市」に、泉北はなれると思うんです。団地に住む人が農村に野菜を買いに行ったり、農村で草木染めた生地を使って岩藤さんがカッコイイ服を仕立てたり、農村に住む人がニュータウンの緑道イベントに遊びに来たり。新しいまちづくりはもう始まっているんです。

**増田さん** ただ、同規模の他のまちと比較すると、泉北には職がありません。水道工事屋さんや大工さんと呼ばうと思っても、みんなまちの外。泉北がいかにびつなまちかということです。今後空き家が出て、家賃も下がれば、そこを活用して「まちの面倒をみましょうか」という職業の人が現れ、地元で消費する時間も増えるでしょう。



**岩藤さん** 例え、スタンドアロン型のタウン構成をみんなのビジョンにしてしまえば、やがてエネルギーをつくる人だって現れるんじゃないかな。若者は当然だけど、定年後の高齢者を移住者として受け入れるのも、まちづくりのベースにしていた方がいいですね。地元で仕事ができるしくみで。みんなのプロファイルがデータ化できたらもっといいですね。その人がどういう生き方をしてきたか、何が得意なのかを記載する項目があって。そうしたら、「この人に電気のことをお願いしよう」とか、「あそこのコミュニティにこれができる人が足らんから、この人にお願いしよう」とか、そういうことができるかもしれませんね。

※この記事は、「NPO法人グリーンズ」が運営するウェブメディア「greenz.jp」に掲載された記事をもとに作成しました



# Local History

その昔、泉北地域はどのような場所だったのか。どんな人々が暮らし、どんな出来事が起きたのか。異なる立場から地域に関わる3名にお話を伺って、土地に残された記憶を探りました。

## 折り重なり立ち上る、土地に残された記憶

### 古代から信仰と共にある 支え合いと自然への感謝。

櫻井神社 宮司  
井守 哲郎  
Imori Tetsuo



当社の創立は正確にはわかっていません。遙か昔、このあたりに居住していたとされる櫻井朝臣一族の祖先・武内宿禰命をお祀りしたのが始まりといわれています。その後、597年に八幡宮を合祀し、応神天皇・仲哀天皇・神功皇后をお祀りするようになりました。八幡神は平安時代末期以降、源氏の氏神として信仰が広がり、武神の性格が強くなったことで、南北朝時代には上神・和田・櫻井・木寺など、多くの南朝方の武将が戦勝の祈願に度々訪れて、田畑を寄進しました。1577年には、織田信長の根来寺攻めの兵火にかかり、神宝・古記録などを焼失し、神領も没収されました。しかし1588年、加藤清正の発願によって阿弥陀堂が再建され、その後、神門・鐘楼・宝蔵を再建し、江戸時代中期には旧観に復しました。また、神社には1351年から1872年まで520年に渡り書き継がれた「中村結鎮御頭次第」という宮座記録が残されています。私どもの先祖が1869年に神祇

官より神主職を申し付けられ、櫻井神社の宮司となる以前は、上神谷の氏子組織である宮座制度により神社が護持運営され、毎年結鎮行事（弓矢でその年の厄災を祓う行事）が行われ、村の鎮守を中心に結合が強められていたようです。もともと日本人自体が農耕民族ですから、一定の土地に定住し、自然の恵みを受けながら田畑を耕し、実りの秋に感謝することでさまざまな文化を育んできました。しかし経済成長が進み、変化の著しい今の生活形態は利便性・経済性・個別化が優先され、多くの人は身軽なことを良しとする生活が身につくにつれて、古くから伝わる神祭や神賑わいの文化を表面的にしか受け取れなくなっているような気がします。戦乱の時代や度々起こる大きな災害を乗り越えて受け継がれてきた伝統行事の裏には、いつの時代にも大切な、地域で支え合って生きてきた姿、自然への謙虚な感謝があることに気づかされます。ぜひ地元の祭りにも足を運んでいただきたいと思います。

### 小谷城から見えてくる、 鎌倉から江戸までの泉北。

小谷城郷土館 館長  
小谷 寛  
Kotani Hiroshi



小谷城は鎌倉時代中頃に、標高80メートルほどの山をそのまま城として利用した、堺で最も古い城址になります。とても見晴らしが良く、天気の良い日は淡路島や神戸の方まで見渡すことができます。ここを居城にした小谷家は平家の氏族でした。家伝によると、平清盛が「平治の乱（1159年）」で捕らえた、当はまだ幼かった源頼朝・義経を殺そうとした際に、清盛の継母である「池禅尼」という女性が彼らを殺さないよう頼んだことから、頼朝は伊豆に流され、義経は鞍馬寺に送られることになりました。池禅尼は長男を亡くして、その長男と頼朝が瓜二つだったというのが、彼らの命を救った理由のようです。時は流れて、池禅尼もこの世から去った後のこと。成人した頼朝・義経が京都に攻め入って、平家を西国に追いやってしまいました。しかし、池禅尼の実子・頼盛とその子孫だけは京都に呼び戻し、昔からの平家の居住地に住まわせたといえます。

ですが、源氏の世の中に自分たちだけ平家という状況は居づらかったでしょう。若松荘、すなわち現在の泉北を含む地域に地頭として移ってきたのです。その後、小谷城を築城し、南北朝時代には南朝方について狼煙の中継地点として機能し、また天野山金剛寺の行宮（天皇が外出したときの仮宮）を守る城としても役割を担いました。戦国時代には根来攻めに来た織田勢に敗戦し、城主自ら城に火をつけ落城。それでも子孫は「大坂夏の陣」の際には徳川方となって参戦し、功勞を立てて郷土となり、江戸時代には地域を治める庄屋（村の首長）を務めました。郷土ですので、いわゆる半農半武士です。そのため当館では、農具民具などの民俗資料を多く所蔵している他、古瓦や須恵器、武具用具なども展示しています。ご来館の際には、ふるさとのような懐かしさと、ゆったりとした時間を感じていただければ幸いです。

### 新旧の歴史が混ざり合う 泉北の独自性と面白さ。

堺市博物館 学芸員  
渋谷 一成  
Shibutani Kazunari



泉北という地域は、もともと谷筋に人々の住まいがあり、丘陵は木材をとったり、炭を焼いたり、草や枯葉を畑にまく堆肥を得たりするところでした。そこには古い歴史があります。例えば、法道寺の食堂や多宝塔も、鎌倉時代や南北朝時代に建てられたものですし、櫻井神社の割拝殿は鎌倉時代のもので国宝に指定されています。また、秋祭りで奉納される「上神谷のおどり」は、中世の影響を残す雨乞いのお祭りです。泉州や河内は、あちこちに池がありますが、このあたりは雨の少ないところなので、農耕用の水を溜めておく必要がありました。農民にとっては日照りが続けば作物がとれないので、雨乞いは切実な儀式だったのです。いつ頃から人が住み始めたのか、はっきりとはわかっていませんが、須恵器の産地になったのが5世紀初めくらいのこと。丘陵で斜面があるため、須恵器を焼く「登り窯」が作りやすかったのです。これまでの発掘で1000カ

所以上の窯跡が確認されています。その多くはニュータウン開発で姿を消しました。平安時代の終わり頃からは、和田氏という武士が現在の美木多側の谷で活動しています。江戸時代になると、比較的小さな大名や、本拠が関東にある譜代大名の領地が細々とある地域になっていきます。江戸時代の村にとって、丘陵はいわば共同財産でした。明治に入って山は個人持ちになり、昭和30年代後半に入るとニュータウン開発のため、大阪府企業局が大規模な買収を行っていきました。そして1967年、ついにニュータウンが開かれたのです。それから50年。今では、ニュータウンから谷を降りると農村になり、急に古いものにも出会う、不思議な面白さをまちが帯びるようになりました。谷筋の村々や緑地を残しながら、できる限り共存を目指した開発が歴史の交錯点を生み、今、泉北の独自性となって現れているのかもしれない。

## Access

### 電車で お越しの場合



**From Kyoto** |約70分| 京都駅 → JR京都線新快速/約30分 → 大阪/梅田駅 → 大阪市営御堂筋線/約10分 → なんば/南海難波駅 → 南海高野線・泉北高速鉄道/約30分 → 泉ヶ丘駅 → 梅・美木多駅 → 光明池駅

**From Nara** |約70分| JR奈良駅 → JR大和路線快速/約40分 → 天王寺駅 → 大阪市営御堂筋線/約20分 → なかもず/中百舌鳥駅 → 泉北高速鉄道/約10分 → 泉ヶ丘駅 → 梅・美木多駅 → 光明池駅

**From Wakayama** |約80分| 和歌山市駅 → 南海特急サザン/約60分 → 天下茶屋駅 → 南海高野線・泉北高速鉄道/約20分 → 泉ヶ丘駅 → 梅・美木多駅 → 光明池駅

### 車で お越しの場合



**From Kyoto** |約60分| 京都駅 → 鴨川西出入口(阪神8号京都線) → 久御山JCT(第二京阪道路) → 門真JCT(近畿自動車道) → 松原JCT(阪和自動車道) → 堺IC(出口) → 泉北

**From Nara** |約60分| JR奈良駅 → 宝来ランプ(第二阪奈有料道路) → 西石切ランプ(阪神13号東大阪線) → 東大阪JCT(近畿自動車道) → 松原JCT(阪和自動車道) → 堺IC(出口) → 泉北

**From Wakayama** |約60分| 和歌山市駅 → 和歌山北IC(阪和自動車道) → 堺IC(出口) → 泉北

### 飛行機でお越しの場合



**From KIX** |40分| 関西空港 → 関西空港リムジンバス → 光明池駅 → 梅・美木多駅 → 泉ヶ丘駅

発行日 | 2018年3月31日 発行・企画・制作 | NPO法人 SEIN

プロデュース | 前田展広 (前田展広事務所) 編集・執筆 | 赤司研介 (SlowCulture) アートディレクション&デザイン | 長岡綾子 (長岡デザイン) 撮影 | 都甲ユウタ

表紙イラスト | 吉實恵 中面イラスト | 中田こぶし (p4-9) 写真提供 | 寺内尉士 (p15) 記事提供 | 村崎恭子 (p15)

協力 | 泉北ニュータウンまちびらき50周年事業実行委員会・大阪府住宅供給公社・独立行政法人都市再生機構・南海電気鉄道株式会社・泉北高速鉄道株式会社・一般財団法人大阪府タウン管理財団・堺市・大阪府

問い合わせ先 | NPO法人 SEIN 〒590-0985 堺市堺区戎島町5-9 TEL | 072-355-3225 MAIL | info@npo-sein.org HP | www.npo-sein.org

あなたも泉北で暮らしませんか?  
http://senbokunewtown50th.com/

泉北ニュータウン  
まちびらき50周年  
SENBOKU NEWTOWN 50TH